

新空港線第一期整備事業の速達性向上計画認定について

新空港線第一期整備事業の整備主体となる羽田エアポートライン株式会社及び営業主体となる東急電鉄株式会社が、令和７年８月１日に国土交通大臣に連名で提出した速達性向上計画が、１０月３日に認定されました。これにより、両社が本事業を行うことの許可を得たこととなります。

１ 速達性向上計画の概要

鉄道の種類	普通鉄道
営業キロ程	蒲田駅～蒲田新駅（仮称）間 0.8 k m
運行区間	渋谷方面～多摩川駅～蒲田駅～蒲田新駅（仮称）
運行頻度	朝最混雑時間帯：20 本／時 程度 その他時間帯：10 本／時 程度
車両編成数	3 両、8 両
運賃	東急電鉄の運賃体系を基本とし、 蒲田駅～蒲田新駅（仮称）間は加算運賃を設定する
整備期間	開始予定年月：令和 7（2025）年 10 月 終了予定年月：令和 24（2042）年 3 月 ※残工事期間含む
総事業費	約 1,248 億円
運行開始時期	令和 20 年代前半

２ 今後の流れ

今後は工事着手に向けて、羽田エアポートライン株式会社を中心となり、都市計画や環境影響評価、鉄道施設の設計を進めてまいります。

